



大木町政施行
70周年記念事業

M
écénat

企業メセナ協議会
助成認定活動

子守唄を次世代へ

GO!CHII フォーラム

令和7年10月25日(土) → 11月2日(日)

10/25(土) 14時～ 入場無料

座談会「伍一と子守唄」

伍一の子守唄研究の功績を振り返る

会場：こっぽーっとホール
(大木町総合体育館内)

13時半
開場

出演：松原健之、西館好子
近藤征治、国見修二

10/26(日) 13時半～ 入場無料

みんなで歌おう子守唄

+

松原健之・大地あきお
歌謡ショー

会場：こっぽーっとホール
(大木町総合体育館内)

13時開場

出演：松原健之、大地あきお
川口京子、はせがわふさこ

10/25(土) ▶ 11/2(日)

子守唄研究家
松永伍一展

伍一の子守唄関係本をまとめて紹介

会場：大木町図書・情報センター
※11/1、2は大木町総合体育館に移動

時間：10時～20時

※10/26は18時まで
11/1、2は16時まで

入場無料

主催 大木町

こっぽーっとホールイベント企画運営委員会

協力 日本子守唄協会

【問合わせ】

大木町地域づくり課(図書・情報センター内)

☎ 0944-32-1047 FAX 0944-32-1183

◆関連事業◆ こみせんセミナー

松永伍一とさるこい2025の見どころ

【日時】10/27(月)13:30～/10/29(水)18:30～

【会場】大薨コミュニティセンター

松永 伍一

1930年 - 2008年

まつなが ごいち

詩人・評論家・子守唄研究者



福岡県三潴郡大薨村(現大木町)大薨の生まれ。八女高校卒業後、丸山豊氏主宰の詩誌『母音』に参加、また自ら詩誌『交叉点』を発刊した。上京後『日本農民詩史』『日本の子守唄』など数々の優れた著作を発表。特に『日本の子守唄』における民俗学的な手法に基づいた採集、分析は今なお高い評価を受けている。

～ GOICHI フォーラムとは ～

大木町が生んだ詩人、故松永伍一さんは、詩人、評論家、民俗学研究、画家など様々な顔を持たれていますが、生涯にわたって特に力を注いだのが「子守唄」研究でした。著書『日本の子守唄』は、民俗学に基づく手法による子守唄論で、今なお高い評価を受けています。

今回、「子守唄を次世代へ」をテーマに、松永伍一さんと深いかかわりのある皆さんによる座談会や、子守唄のコンサートを開催します。

このフォーラムを通じて子守唄の持つ魅力を再確認し、発信することで、次の世代に受け継ぐことが、私たちの思いです。

こっぽーっとホール企画運営委員会

GOICHI フォーラム出演者



西館 好子（にしだて よしこ）

NPO法人 日本子守唄協会会長

東京・浅草生まれ。1982年劇団こまつ座主宰、演劇のプロデュースを手掛ける。1985年、第20回紀伊国屋演劇団体賞を受賞。1995年スポーツニッポン文化大賞受賞。30年に及ぶ演劇活動、DV、子供の虐待、女性問題への活動などを経て、2000年日本子守唄協会設立。現在は女性史の一つともいえる子守唄に取り組んでいる。



松原 健之（まつばら たけし）

1979年10月1日生まれ 静岡県袋井市出身

2005年にティチレコードより「金沢望郷歌」でデビュー。

松原の「松」は詩人・松永伍一氏の「松」、健之の「之」は作家・五木寛之氏の「之」から命名。

2025年10月、20周年記念曲第二弾「愛が泣く 日本海」をリリース。

優しく透明感のあるヒューマンボイスで聴く人の心を惹きつけている。



近藤 征治（こんどう せいじ）

1942年生まれ、福岡県大木町出身。詩人・松永伍一先生の指導による中学生詩誌「河童園」当時の文学資料を蒐集復刻。絵画では幅広い知識と奥深い詩的創造性の考え方を松永先生に学ぶ。60歳半ば、三軌会展に初入選、その後毎年出品。三軌会会友（2023年退会）個展数回。大作（50～100号作品）は全て公共施設に寄贈展示。新座美術協会会員



国見 修二（くにみ しゅうじ）

詩人。1954年新潟県生まれ。上越教育大学大学院修了。日本詩人クラブ会員、上越詩を読む会運営委員、高田瞽女の文化を保存・発信する会理事。学生時代より松永伍一氏を師と仰ぎ詩作を続ける。主な著作詩集：「鎧潟」「雪蛸」「瞽女歩く」「瞽女と七つの峠」「母守唄・母は焚き木です」「瞽女力入門」「瞽女さと温泉」「瞽女一祈り」など。 剣道七段



大地 あきお（だいち あきお）

長崎県西海市出身。初代西海市ブランド大使。

2024年10月29日「こんな男を許すなよ」でメジャーデビュー。

作詞を松原のぶえ、作曲を日本歌手協会理事長 合田道人の初コンピで発売から2週間でオリコン演歌・歌謡曲部門では12位を記録。カップリング曲は「長崎の雨がやむまで」。

話題のラジオ番組「大地あきおのほっとけない歌謡曲」では毎週メジャー歌手をゲストに放送中。平戸サムソンホテルでの定期歌謡ショーも開催中。



川口 京子（かわぐち きょうこ） 歌唄い

子供の頃、歌手の上野耐之氏から歌を教わる。日本歌曲、童謡、唱歌、抒情歌、民謡、子守唄、などを中心にコンサート活動をしている。これまでに「北原白秋を唄う」「野口雨情を唄う」「日本の唱歌」「戦後のこどものうた」「歌でつづる日本の自然」といったテーマでソロコンサートを行なう。1999年度日本童謡賞特別賞受賞。



はせがわ ふさこ ピアノ・編曲

国立音楽大学ピアノ科卒業。クラシック、タンゴ、童謡・唱歌、子守唄、民謡等オールラウンドマルチプレーヤーとして、ソロ活動のほか様々なジャンルの演奏家と演奏およびアレンジャーとして共演。クリアなサウンドと多彩な編曲で、共演者の信頼も篤い。テレビ朝日「題名のない音楽会」ほかテレビ出演。第43回日本童謡賞特別賞受賞。日本童謡協会・テレビ朝日主催「童謡こどもの歌コンクール」公式ピアニスト。